

コミュタン福島における取組

総務企画部企画課
(所属 福島県)

1 はじめに

「福島県環境創造センター」は東京電力福島第一原子力発電所事故により福島県を中心とした東日本の広範囲に拡散された放射性物質の環境汚染を受け、原発事故からの環境を回復し、県民が安心して生活できる環境を創造するための拠点施設として整備し、平成 28 (2016) 年 7 月に全面開所した。当センターは福島環境回復・創造に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信及び教育・研修・交流事業を柱として様々な取組を進めており、今回は、情報収集・発信及び教育・研修・交流事業を担う当センターの 1 施設である交流棟『コミュタン福島』の利用実績の報告及び令和 5 年 3 月にリニューアルを行った新規展示の一部について紹介を行う。

2 コミュタン福島の利用実績等

2016 年 7 月 21 日～2024 年 3 月 31 日までの総来館者数(オンラインを除く)は 610,361 人となり、平成 29 年度～令和元年度まで年間 90,000 人を超える来館者が訪れ、目標の 80,000 人を大きく上回る状況であったが、2020 年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により

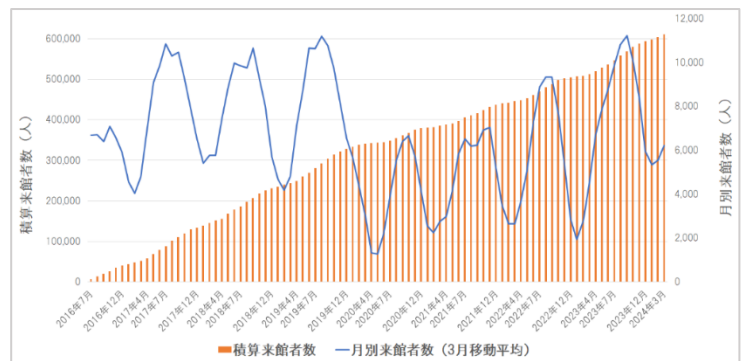


図1 コミュタン福島の来館者数(平成 28 年 7 月 21 日～令和 6 年 3 月 31 日)

より年間の来館者数はこれまでの約 5 割程度まで減少した。2023 年度は、展示施設のリニューアルや新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行などもあり目標の 80,000 人を大幅に超える 97,976 名もの来館者を迎え、コロナ禍以前の状況に戻ったことが示唆された。

3 新規展示の紹介

(1) 「バーチャルラボ」

普段は目にすることができない環境創造センターの研究施設の様子をコミュタン福島のマスコットキャラクター「コミュタン」が案内し、クイズを交えながら楽しく解説している。環境創造センターの研究への理解醸成や興味・関心へ繋げることを目的としている。



図2 新規展示

(左：バーチャルラボ、右：未来創造インフォストリーム)

(2) 「未来創造インフォストリーム」

ふくしまの環境回復・創造に関する「今」を数値や映像で発信するとともに、環境創造センターがこれまで取り組んできた研究についてその成果や研究者の思いなどを発信するタッチパネル式デジタルサイネージとなる。なお、コンテンツの更新(追加・蓄積など)ができることが大きな特徴の 1 つであるため、来館者のニーズや学習したい内容等をよく把握した上で、引き続き情報を発信していくこととしている。